

# お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテを使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

## 【研究課題名】

愛媛県における腎癌薬物療法の治療成績および予後因子に関する多施設共同研究  
DARC-MICAN Study (Drug Assessment of Renal Cancer-Medical Investigation Cancer Network Study)

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院泌尿器科

【研究責任者】 雑賀隆史 (愛媛大学医学部 泌尿器科学 教授)

【研究代表者】 雑賀隆史 (愛媛大学医学部 泌尿器科学 教授)

## 【研究の目的】

本研究は、2016年以降愛媛県下の施設で腎がん薬物療法を受けられた患者さんの診療録(カルテ)調査を行うことにより、腎がんに対する薬物療法の選択状況、治療成績を明らかにし、予後因子を解析することを目的としています。本研究により、どのような患者さんがどの薬剤により恩恵を受けることができるのかも明らかにできることが期待されます。

## 【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2016年11月から2021年3月に愛媛県下の施設において腎がん薬物療法をうけられた患者さんです。(使用薬剤は、本邦で保険承認されている、インターフェロン、インターロイキン2、スニチニブ、ソラフェニブ、パゾパニブ、アキシチニブ、エベロリムス、テムシロリムス、ニボルマブです。)

(利用するカルテ情報)

- ・患者背景：手術時年齢・身長・体重
- ・手術で摘出した組織に関する情報
- ・術前の患者さんの状態に関する情報
- ・薬物療法に関する情報：治療開始日、薬剤名、治療効果、治療時の採血データ、有害事

象など。

**【共同研究について】**

この研究は、愛媛県内の病院（泌尿器科）と共同で行っています。  
匿名化したデータを事務局（愛媛大学医学部泌尿器科）で収集し、統計解析を行います。

**【個人情報の取り扱い】**

本研究は「個人情報保護法」ならびに文部科学省、厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行なわれます。  
集計データの結果は、学会や専門雑誌に公開し、腎がんの治療成績の向上、国民の健康増進に役立つようにします。 個人情報が特定されることはありません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部 泌尿器科学 教授 雑賀隆史

研究分担医師：三浦徳宣

愛媛大学医学部泌尿器科医局

住所：愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5356

Fax: 089-960-5358